



われら世紀の朝を行く

小高中学校記念誌 特集（感想）

◎ 生徒

（○数字は人数）

- ☆小高中の歴史がわかって嬉しかった、感動した⑩
 - 年代別の写真や表があり、見やすかった
 - △かつての生徒数が多いことに驚いた⑦
 - ◇前は、正面玄関に階段があり、職員室が2階だったことに驚いた⑤
 - ▽また人数が増えて、にぎやかで楽しい学校になってほしい③
 - ◇記念誌が作られて良かった、ありがとうございました⑤
 - ◇家族が小高卒で、嬉しそうに読んでいた、親戚とも話げできた⑩
- △卒業生の方の文章が楽しかった、今の自分たちにとり、とても温かく感じた③
 - ☆優勝や金賞が多く、バレー・吹奏楽・野球が全国レベルだったことに驚いた⑩
 - 群青の作られた経緯がわかり、心を込めて歌っていきたい⑥
 - ☆震災の記事があったが、目をつぶったままではダメだと思った
 - 津波はとても大きく、小高駅までできていたことに驚いた③
 - △再開できて良かった、本校舎で学べることは幸せと思った
- ▽小高中に誇りと自信を強く持ちたいと思った、小高中の生徒で良かった⑤
 - ▽自分たちが新しい歴史を作ろう、頑張ろうという気持ちになった④
 - 長い歴史を知るほど自分の学校への愛着や喜び、自信が生まれた②
 - ◇小高中のすばらしさを伝えていきたい、自分も歴史に残ることがしたい⑥
 - ◇歴代の校長先生がお元気で、文章も載っていて、貴重だと思う④
 - ☆校長先生の名札があり驚いた、それほど大事にしてきたと感じた⑥
 - △校長先生の小高中に対する思いが伝わった

◎ 保護者

- 私たちも知らない小高中の歴史がわかり、とても楽しかった③
 - ◇震災直後の状況、教職員の対応がわかった、生徒・住民のためにありがとう②
 - ☆懐かしく思い出した、歴史もよく書かれている。生徒が増えるよう願います②
 - △記念誌を読んで自分の母校のように感じた、記録が残されていて誇りに思う
 - 本校舎で学べるようになり、今では良かったと思う
 - ▽写真や記録をもとに、家族や世代間の話が交流できて楽しい時間を過ごせた
- 記念の年の今、自分の母校に子どもが通える喜びや誇りをを実感した③
 - ◇卒業生の親としても学校を守り、伝統を忘れずにいたい
- ☆新しい小高中の歴史が始まりに期待、われら世紀の朝を行く～正にその通りです②



【春を待つ 小高中の木々】

たくさんの感想をいただき、ありがとうございました。生徒たちが「小高中の歴史を知って、自信と誇りを持った、小高中の生徒で良かった、自分も頑張ろうと思った」のことばに感動しました。津波や震災そして群青が誕生した思いにふれ、伝えていくという意志が見られ、頼もしく思いました。2月、「百里を行く者は九十里を半ばとす」の心意気で！

がんばろう小高！ また会おう群青の町で♪

【校長 荒木清隆 小高中学校 44-2023】